

Waca.p

和歌山県文化情報誌
ワカピー Vol.111



特集〜わかふるコンサート	2
県文で逢いましょう	3
イベントスケジュール	4・5
和歌山県名匠表彰受賞者	6
感動発見!文化の「扉」	7
ピックアップインフォメーション	8

県ゆかりのアーティストが演奏

身近な「街の音楽会」

令和6年度「わかふるコンサート」開催(次号発表)

今年も
皆さんの街に
素敵な音楽を
届けます



和歌山県と和歌山県文化振興財団が実施している「わかふるコンサート」をご存知ですか。生の演奏を聴く機会の提供と、県内で活躍するアーティストの紹介を目的に、公立施設などで開催している“街の音楽会”です。出演者は一般公募から選ばれ、様々なジャンルの演奏が披露されるのが特徴。令和6年度も、あなたの街を訪ねます。

会場は身近な施設

わかふるコンサートは、和歌山県と和歌山県文化振興財団が、県民と一緒に元気な地域づくりを目指す文化振興事業のひとつ。公立施設など身近な場所を会場に、令和6年度も県内各地で開催されます。「音楽会は敷居が高くて…」と心配な方もご安心を。普段、文化芸術にふれる機会の少ない方にも気軽に足を運んでもらおうと、鑑賞は無料。目の前の生演奏を五感で楽しみ、音楽の癒しの力を再発見してもらおうのがねらいです。

笑顔が見える距離

また、同コンサートには、「県内で活躍するアーティストを広く一般に知っ

てもらおう」という目的もあります。出演者は毎年、一般公募で選ばれます。

御坊市出身で現在、関西を中心に活動する声楽家(ソプラノ)、中野綾さん＝写真円内＝は、「生まれ育ったふるさとに皆さんに演奏をお届けしたい」と今までに二度、同コンサートに出演しました。

会場は下の写真の通り、壇上ステージはなく、観客は手を伸ばせば届きそうな近さ。「皆さんの笑顔がこちらから見えるこの距離感が、わかふるコンサートの魅力。リズムを取ったり、歌詞を口ずさんだり、私と一緒に楽しんでくれていることがダイレクトに伝わってきます」と目を輝かせます。ディズニーや童謡・唱歌メドレーといった耳なじみのある曲に、本格的なオペラを1

曲加えるのが“中野さん流”で、和やかさとともに、本物のクラシック音楽にふれた満足感が会場に漂います。演奏後は「楽しかったよ」「また聴かせてね」と声をかける人も多く、「地域の方と直接交流できる貴重な場。心温まる素敵な経験ができました」とふり返ります。

「近隣の方がふらりと立ち寄れるわかふるコンサートは、クラシックを身近に感じていただく機会。音楽は“心の栄養”になります。ぜひ生演奏を体感し、音楽との出会いを楽しんでください」と呼びかけています。

令和6年度わかふるコンサートの詳細は、次号のWaca.p(7月発行)に掲載します。ご期待ください!!

▶わかふるコンサートで歌う中野さん(左奥)。「アットホームな雰囲気の中、あらゆる年代の方に生演奏を楽しんで頂きます」。(昨年12月、白浜町のホテルシーモアで)



県文

ken-bun

で逢いましょう

8月7日(水)、県民文化会館で「野村萬斎狂言会」が開催されます。日本が誇る古典芸能を現代に伝え続ける野村萬斎さんが出演し、魅力や楽しみ方などの解説も行います。和歌山公演への想いを聞きました。



たくましい人間の姿 湧き上がる自然な笑い これが狂言の魅力

狂言師 野村 萬斎
NOMURA MANSAI

1966年生。祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作(人間国宝)に師事。重要無形文化財総合指定者。東京藝術大学音楽学部卒業。「狂言ござる乃座」主宰。国内外で狂言の普及を目指す一方、新しい演劇活動にも意欲的に取り組む。現在の日本の文化芸術を牽引するトップランナーのひとり。芸術祭新人賞・優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞、観世寿夫記念法政大学能楽賞、松尾芸能賞・大賞等、受賞多数。石川県立音楽堂邦楽監督。東京藝術大学客員教授。公益社団法人全国公立文化施設協会会長。

—— 伝統芸能というと難しく感じ、身構えてしまう方もいらっしゃると思います。楽しみ方や面白さを教えてください。

狂言は、現代にも通じる「人間の生きる姿」を描いていて、自然に湧き上がる笑いを楽しんで頂く芸能です。人間がたくましく生きる普遍的な姿を、ぜひじっくりとご覧ください。

—— 舞台上上がる際、心がけていることやこだわりはありますか？

私共の「狂言」は、毎日違うところで公演をしています。よって、その日、その会場へお越しになるお客様とは、まさに一期一会。常に全力投球で向き合うよう心がけています。



◀「釣針」は、太郎冠者の洒落な舞や、女たちが身にとった華やかな装束も見どころ。

—— 今回の演目「雷」「釣針」の見どころは？

「雷」は、雲の上にいるはずの雷様が地上に落ちてきて、人間の医者の方針治療を受けるというお話です。いかめしい雷が針治療に七転八倒するさまは、腰痛持ちの方であれば他人事ではないかもしれません(笑)。それだけ人間的だということです。雷がつけている狂言面や扮装にも注目して頂きたいです。

「釣針」は、主人が太郎冠者を伴って西宮に参詣に行くと、西門に置いてある釣針で妻を釣るようお告げを賜わり、妻や腰元を次々と釣り上げるというお話です。こちらは華やかな装束も見どころです。

—— 「Waca.p」読者にメッセージを。

和歌山の公演は、2年ぶりです。今年は暑い時期の公演になりますが、夏休み中でもありますので、ご家族皆様お誘いあわせの上、おいで頂ければ大変うれしく存じます。



◀「雷」の一場面。いかめしい雷が、医者の方針治療に七転八倒する様子が笑いを誘う。

※写真撮影：ともに政川慎治

2024年

8/7(水)

野村萬斎狂言会

◆解説…野村萬斎

「雷」 雷 野村裕基
「釣針」 太郎冠者 野村萬斎

まもなくチケット
販売開始！

※詳細は4-5ページを
ご覧ください

6月

学校向け[伝統文化教育] 狂言鑑賞教室(茂山狂言会)

次代を担うこどもたちのために、生の伝統芸能に触れる機会を設け、日本の伝統文化の良さや豊かさに気づくことで、自国に誇りと愛着をもち、アイデンティティを高めることを目的に開催します。

6月14日(金) 開演13:30(予定)
和歌山県民文化会館 小ホール(予定)
参加料 小・中・高校生500円



柿山伏(かきやまぶし)



附子(ぶす)

参加校募集

[4月30日(火)必着]

※一般の方は入場できません

6月

スタインウェイ・ピアノを弾いてみよう♪

世界三大ピアノのひとつであるスタインウェイピアノと他の楽器を持ち込んで共演するなど、自由にステージを使っていただけます。楽器を通してステージに立つ魅力を体験し、今後の活動への推進力となる機会を提供する事業です。

6月23日(日) 11:00~20:00(9組募集) ※1組1時間
和歌山県民文化会館 大ホール
1組2,000円

参加者募集

《電話でのみ受け付けます》
[5月13日(月)13時から]

先着順

※氏名・年齢・住所・電話番号・参加人数をお申し出ください

6月

しまじろうコンサート 「しまじろうと わくわくドーナツフェスティバル」

6月30日(日) ①開演14:00 ②開演17:00

和歌山県民文化会館 大ホール

会館販売料金3,480円

※全席指定(3歳以上有料。3歳未満のお子様は、保護者1名につき1名までひざ上無料)

- けんぶん友の会先行電話予約/4月15日(月)10:00~
- 一般販売/4月25日(木)10:00~



©Benesse Corporation 1988-2024/しまじろう

8月

野村萬斎狂言会

8月7日(水) 開演18:30(開場18:00)

演目「雷」「釣針」

和歌山県民文化会館 大ホール

1階席6,000円(小学生以上高校生まで3,000円)

2階席4,000円(4歳以上高校生まで2,000円)

- けんぶん友の会先行電話予約/4月26日(金)10:00~
- 一般販売/5月10日(金)10:00~



3ページに野村萬斎さんのスペシャルインタビューを掲載しています。ぜひご覧ください!



野村萬斎



ホームページ



X (旧 Twitter)



Instagram

主催

●和歌山県

●(一財)和歌山県文化振興財団

8月

第52回 和歌山県新人演奏会 オーディション

クラシック音楽を学ぶ優れた若人達を広く県民に紹介し、和歌山県の音楽文化の振興と向上を図るために開催いたします。

8月11日(日・祝) 開演13:00(開場12:30)

和歌山県民文化会館 大ホール

入場料無料(2F席のみ)

募集期間 4月1日(月)～
6月30日(日)

【募集要項】

[応募資格]

- 20歳以上35歳以下(2024年4月1日現在)
- 和歌山県出身者、在住者、勤務者、在学生、卒業生
- 合格の場合、11月10日開催の「和歌山県新人演奏会(本公演)」に出演可能な方
- 過去「和歌山県新人演奏会」に出演された方は、応募できません。※アンサンブル部門は除く

[出演部門]クラシックまたは邦楽演奏(生演奏に限る)声楽・器楽・作曲・邦楽・アンサンブル(8名編成まで)

[演奏時間]5分以内(曲のカットは任意)

[演奏曲目]自由(合格の場合、本公演で演奏する曲)

[参加費]無料

[オーディション合格者による輝きのステージ]

第52回 和歌山県新人演奏会

11月10日(日) 開演13:30

和歌山県民文化会館 大ホール

入場料1,000円 ※高校生以下無料(未就学児入場不可)

【特別奨励賞10万円／奨励賞5万円 授与】

10月

劇団四季ミュージカル『ジーザス・クライスト＝スーパースター』

[エルサレム・バージョン]

10月4日(日)

和歌山県民文化会館 大ホール

詳細は次号で

開催中止になりました

JESUS
CHRIST
SUPERSTAR
ジーザス・クライスト＝スーパースター
(エルサレム・バージョン)

撮影：堀勝志古



撮影：山之上雅信

※写真はこれまでの公演より

10月

音楽とダンスの宝箱 ～音楽とダンスで綴る心優しいコンサート～

世界的指揮者・佐渡裕氏が芸術監督を務めるオーケストラで、設立時より19年間に亘りプレイヤーとして選ばれ続けている和歌山が誇るヴァイオリニスト北島佳奈と、現代ダンスの先駆者ダンスカンパニー・セレノグラフィカが贈る、音楽&ダンスが出会う夢のステージ。

10月13日(日) 開演13:30(開場13:00)

和歌山県民文化会館 小ホール

全席指定500円 ※高校生以下無料(要整理券)

●けんぶん友の会先行電話予約／5月9日(木)10:00～

●一般販売／5月13日(月)10:00～



北島佳奈



上野絵理子



セレノグラフィカ 撮影：Ai Hirano

県内公共ホールツアー開催決定

10月13日(日) 開演13:30(開場13:00) 和歌山県民文化会館 小ホール
☎073-436-1331 全席指定500円 ※高校生以下無料(要整理券) ●売出日／5月13日(月)～10月20日(日) 開演13:30(開場13:00) 串本町文化センター
☎0735-67-7260 一般500円 ※高校生以下無料(要整理券) ●売出日／7月16日(火)～10月27日(日) 開演13:30(開場13:00) かつらぎ総合文化会館 大ホール
☎0736-22-0303 一般500円 ※高校生以下無料(要整理券) ●売出日／8月20日(火)～11月10日(日) 開演14:00(開場13:30) 上富田文化会館 文化ホール
☎0739-47-5930 一般500円 ※高校生以下無料(要整理券) ●売出日／8月20日(火)～

この公演は、(一財)地域創造の支援により、「和歌山県公共ホール創造ネットワークモデル事業」として、県内4施設の公共ホールで開催します。詳細は各ホールまで。

和歌山県名匠表彰受賞者



令和5年度

和歌山県
名匠表彰

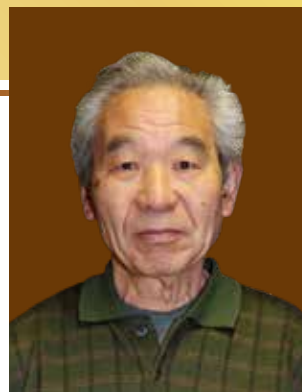
紀州高野
組子細工師

池田 秀孝 (号：秀峯) さん

いけだ ひでたか

しゅうほう

1946年、橋本市生まれ。父が創業した池田清古建具で建具の基礎や紀州高野組子細工の技を習得。木の濃淡で風景や絵画を表現する「きのくに・千切れ・はめ込め技法」を編み出し、伝統工芸品にアート性を持たせます。2001年に橋本市文化奨励賞。



伝統工芸にアート性を

サッシへの組子 装飾依頼きっかけに

衝立や額、欄間に浮かび上

がる壮大な富士や、那智の滝、また、波をかき分けゆったりと進むクジラ。『三ツ組手（みつくで）』という正三角形の枠に木片を組み込み、絵画や風景を浮かび上がらせます。材料は杉、檜、高野槇などの高野六木が中心。釘や金具は一切使わず、色の違いで濃淡を出すことで、伝統工芸が絵画のようなアート作品に仕上がります。

組子細工は江戸時代、高野



屏風から飛び出して来そうなほど迫力ある「風神・雷神」

ただし、その後も仕事の中心は建具製作でした。ところが設置から10年ほど経ったころ、「組子細工のアルミサッシがある」と話題になります。ちょうど、「いざれ建具」だけでは

山にある寺院の修復のために京都から招いた組子職人が技術を伝えたことで、高野山や橋本周辺に広まりました。

組子細工職人7代目の池田さんが建具職人として技術を磨いていた22歳のころ、「アルミサッシに組子を施してほしい」との依頼を受けます。ですが、当時は技術的に自信がなく、何度も断ります。それでも依頼は続き、「できる時でいいから」との言葉をもらい、受諾。試行錯誤しながら幾何学模様の装飾を入れ、数年後に取り付けることができました。

メになる。付加価値を付けないといけない」と考えていたこともあり、「組子細工に力を入れる」と決心します。

独自に開発した 千切れはめ込め

技術を磨く中で、伝統技法の欠点が浮かびます。建具は現場に合わせて製作するため、組子細工をする際、三ツ組手の角度や部材の大きさが現場によつて異なり、生産効率が悪くなってしまうのです。

平成になったころ、三ツ組手も部材も正三角形のみとし、大きさを数種類に絞ります。それを機に、単なる幾何学模様から脱し、より細かな表現ができる「きのくに・千切れはめ込め技法」を発案。風景や絵画のアートを感じさせる作品を作ることに成功したのです。

その後、葛飾北斎の「神奈川沖浪裏」、俵屋宗達の「風神雷神」（写真上）、さらに、オリジナルの欄間「橋本の夏祭」、額「彩雲遠望」や「高野山黎明」などの作品を次々と発表しました。

そんな中、2016年に工房が類焼し、作品の多くを焼失してしまいました。

しばらく制作できませんでしたが、それ乗り越え、再びものづくりの場に復活。いまは以前と変わらず仕事をできていただけでなく、新しい組子細工の開発にも着手しています。

今後は、池田さんだけになつてしまった組子細工技術の伝承が課題。息子の幸司さんの他、数人が後継者に手を挙げています。池田さんは「物事を極めるには心技体だけでなく、『智伎（ちぎ）』という自分にかない伎（わざ）を身に付けたい」といいます。その上で、伝統技術の重みを理解してくれる人に伝承したいと話します。

また、焼失した「風神雷神」の「飛び出してくるような迫力」は、イメージが焼き付いています。何とかもう一度制作したい」との思いは尽きません。



日本らしい風景が浮かび上がります

感動発見！文化の「扉」

和歌山を拠点に、文化・芸術活動に取り組む団体をご紹介します。
知る、まなぶ、体験する場に、加わってみませんか。

合 唱

和歌山混声合唱団

大事ななのは「楽しく歌うこと」

「和歌山を明るい歌声で満たしたい」との思いから1966年、声楽家で編曲家の太田一夫さんが和歌山労音合唱団をもとに創設。クラシックや世界の民俗音楽などを持ち歌に、定期演奏会や介護施設への慰問を行ってききましたが、一度だけ歌唱を競う「全日本リンゴ追分コンクール」(2008年)に出場。アラカルト部門で優勝するという実績を残しています。

2016年からはテナーの伊原木幸馬さんが太田さんの後任として指導者になり、団を引っ張っています。現在メンバーは男女16人。年に3回ほどコンサートや音楽祭で練習の成果を披露しています。

五十嵐洋子代表は「日本語以外の曲も歌うため難しいことも多いですが、大事ななのは歌を楽しむこと。みんな笑い合いながら、真剣に合唱しています」と微笑みます。

指導者
伊原木幸馬さん
Profile

大阪府出身。大阪教育大学大学院声楽コース修了。日本クラシック音楽コンクールと、大阪国際音楽コンクールで3位に。ウクライナ人の恩師とのつながりから、2016年から3年連続現地を訪問。地元交響楽団と共演しました。現在4つの合唱団を指導しています。



週に1度、和歌山市内で練習しています

国内外で活躍する伊原木さん



第29回演奏会

6月23日(木)午後2時、県立図書館2階メディアアートホール。『ラストダンスは私と』『踊』など太田さんが合唱用に編曲した曲やわらべ歌、さらに伊原木さんがソロを披露します。無料。団員募集中。詳しくは五十嵐さん ☎090-3928-8215。

朗 読

渚会

型にはまらない朗読劇

劇団ZEROの石村渚さんが主宰する朗読グループで、モットーは「型にはまらず、やりたいことをやる」。主に和歌山の民話をアレンジし、ナレーションを中心に、芝居、歌、踊りを織り交ぜたオリジナルの「新感覚朗読劇」に取り組みます。メンバーはほとんど未経験から始めた、30～80歳代の11人。「初めはセリフを言うのを恥ずかしがっていましたが、今は大きすぎるくらい声が出る」と石村さんは目を細めます。

年1回、和歌山城ホールで公演し、イベントにも出演します。石村さんが脚本を書き、演出を担当。自らもステージに立ち、小道具やセットの製作を含め、全員でひとつの舞台を創り上げます。「お客さんに楽しんで元気になってもらう」ため、新しい形のエンターテインメントでパワーを送り、夢を追いかける力、表現する喜びを発信し続けます。

朗読グループ
渚会
Profile

石村渚さんが講師を務めたナレーション&朗読教室の10人が、「もっと続けたい」と2019年に結成。21年、きのくに舞台芸術演劇祭、翌年、きのくに舞台芸術祭で公演。今年2月、同祭で『あしはらなかつくに夢物語』より『赤猪子物語』と『ヤマトタケル』を上演しました。



ナレーションと芝居を合わせ、迫力ある朗読劇を披露

本番前は練習に力が入ります



メンバー募集

演劇や朗読に興味があれば、未経験でも大歓迎。自分達も楽しむことを忘れず、しっかり声を出し、元気に活動しています。毎月3回、土曜午後、和歌山市内のコミュニティセンター等でけい古。問い合わせは石村さん ☎080-1439-3113。

県文会議室

午前、午後、夜間いつでも

1,000円

文化教室や
会議、面接、
勉強会で
大人気!!

全室、有線 LAN
フリーWi-Fi(無料)

サービス実施中!
※18名会議室12室対象

県文展示室

みんなの作品で街を元気にしよう!
展示室15%値下

1週間

利用で

約 4万円
[1日約5,700円]

※展示室全4室対象/上記は特設展示室の料金



約500台収容の駐車場あり / 40分100円 / 24時間料金600円

ピックアップインフォメーション

片男波公園＜万葉館＞

「万葉日本画展」

4月5日(金)～7月7日(日)

9:00～17:00 ※最終日は15:00まで

万葉の時代から多くの人々に愛されてきた和歌の浦が今年は、聖武天皇行幸1300年を迎えます。展示会では、万葉集に詠まれた「椿」「梅」等の花々や、風景を日本画で表現した見応えのある力作約30点が並びます。(SM～10号サイズ)



数椿・南口みどり

和歌山市和歌浦南3丁目1700 ☎073-446-5553 9:00～17:00(入館16:30まで)
※月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) ⑤ 入館無料

和歌山県立博物館

特別展「紀州東照宮の宝刀」

4月27日(土)～6月2日(日)

紀伊徳川家の歴代藩主・当主が、紀州東照宮へ奉納した刀剣をすべて展示します。

重要文化財・太刀 左近将監景依(紀州東照宮蔵)



特別展「聖地巡礼 ―熊野と高野―」

那智山・那智瀧の神仏―熊野那智大社と青岸渡寺―

6月15日(土)～7月21日(日)

「紀伊山地の霊場と参詣道」世界遺産登録20周年を記念した特別展。第1期は、神仏習合の景観を今に留める熊野那智大社と青岸渡寺を紹介しします。

和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8670 9:30～17:00(入館16:30まで) ※月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) ⑤ 特別展／一般520円(420円)、大学生310円(250円) ※高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料。団体割引あり(20名以上)。毎月第4土曜日「紀陽文化財団の日」は大学生無料

和歌山県立紀伊風土記の丘

春期企画展「黒江・商家のくらしと漆器」

3月16日(土)～6月16日(日)

9:00～16:30

古くから漆器の生産地として栄えた海南市黒江。この町で江戸時代から昭和にかけて営まれたものづくりと商家のくらしの変遷を紹介します。



金柑絵銘々盆

和歌山市岩橋1411 ☎073-471-6123 9:00～16:30(入館16:00まで) ※月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) ⑤ 一般190円(150円)、大学生90円(70円) ※高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料。団体割引あり(20名以上)

和歌山県立近代美術館

企画展「土が開いた現代 革新するやきもの」

茶碗ちやうで―陶芸が開拓した

新しい表現の世界をふりかえる

4月27日(土)～6月30日(日)

20世紀後半の京都を中心に、陶による多彩な表現が試みられ、現代日本の美術に大きな一角を占めています。当館コレクションから陶による造形の広がりを紹介します。

※《エレベーター改修工事のため、4月26日(金)迄 休館中》

林康夫《人体》1950(昭和25)陶 和歌山県立近代美術館蔵



和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8690 9:30～17:00(入館16:30まで) ※月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) ⑤ 企画展／一般520円(410円)、大学生300円(260円) ※高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料。団体割引あり(20名以上)。毎月第4土曜日「紀陽文化財団の日」は大学生無料

和歌山県立自然博物館

きのくに野外博物館「磯の生物観察会」

5月12日(日)13:00～15:00

春の大潮の頃は潮が良くひき、磯の生物観察にぴったりです！ 那智勝浦町の磯でエビやカニ、ヤドカリ、魚などを観察しましょう。普段何気なく見ている海には驚くほど多くの生き物がすんでいます。きっと新たな発見があるはず！



■開催場所: 那智勝浦町宇久井

■募集対象: 小学生以上一般(小学生は保護者同伴) ■定員: 30名 ■費用: 無料

■用意する物: 汚れても良い服装、滑りにくい靴(ビーチサンダルは不可)、水筒、帽子、採集道具

■申込方法等: 往復はがきで申込。4月21日(日)締切(多数の場合抽選。1組1通、複数応募は無効)

海南市船尾370-1 ☎073-483-1777 9:30～17:00(入館16:30まで) ※月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) ⑤ 一般480円(350円) ※高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料。団体割引あり(20名以上)

太地町立くじらの博物館

くじらの博物館は、世界でも珍しい中型のクジラ「ゴンドウ」だけの迫力満点なショーや、巨大シロナガスクジラの全身骨格標本などの展示が人気。海洋水族館マリナリウムでは、真っ白なアルビノのバンドウイルカが飼育展示されている他、ふれあい体験やさわって学べるハンズオン展示も魅力で、くじらの不思議な世界に没頭できます。

詳しくは同館HP(<http://www.kujirakan.jp>)。



東牟婁郡太地町太地2934-2 ☎0735-59-2400 8:30～17:00 ※年中無休 ⑤ 一般・高校生1,800円、小学生900円 ※同伴幼児は無料。イベントは別料金。70歳以上、障害者、15名以上の団体割引あり

けんぶん友の会のご案内

うれしい会員特典

☆入会金・年会費「無料」

☆主催公演チケットの優先予約

☆会館プレイガイド取扱チケットの電話予約

☆文化情報の発送(年4回)



その他特典も! 詳しくはお問い合わせください。

和歌山県民文化会館友の会事務局

〒640-8269 和歌山市小松原通 1-1

☎073-436-1331



※本冊子掲載の情報は令和6年3月5日現在のものです。以降、日程変更や中止等の場合がありますので、お出かけの際はあらかじめ施設・主催者等に直接お問い合わせください。

表紙のひと
twinkle
トウインクル

ソプラノ 宮原夕夏さん MIYAHARA YUKA

ピアノ 米澤洋子さん YONEZAWA YOKO



ソプラノとピアノのユニット。こどものころ和歌山児童合唱団で知り合い、ともに音楽の道を志す。宮原さんは、武蔵野音楽大学音楽学部声楽学科卒業、同大学院修了。東京在住。米澤さんは、同志社女子大学音楽学科演奏専攻鍵盤楽器コース卒業。大阪在住。2014年、twinkle結成。和歌山で演奏できる機会は多くはないが、生まれ育ったふるさとへ感謝の気持ちを込めながら、幼稚園、小学校への訪問演奏、わかふるコンサート、また、ディナーショーの舞台に立つ。

和歌山県文化情報誌 ワカピー Wakayama Culture and Arts Power

2024年

4・5・6月号

発行/和歌山県

編集・問い合わせ/一般財団法人 和歌山県文化振興財団(ワカフ)

〒640-8269 和歌山市小松原通1-1(和歌山県民文化会館内)

☎073(436)1331 FAX.073(436)1335

ホームページアドレス/<http://www.wacaf.or.jp>

令和6年4月発行 Vol.111

Waca.p